

編集ノート

魏紹昌氏の論文に掲げた『冰山雪海』の書影および参考資料として収録するよう要請のあった楊世驥「冰山雪海」(『文苑談往』所収)は、いずれも魏氏よりいただいた電子コピーによる。該書は、故増田渉先生も所蔵されていたが、表紙の意匠がより簡素というわずかな違いがある。『文苑談往』は香港より影印本が、台湾より復刻本(『晚清文学史話』1篇を附す)が出版されており容易に見ることができるようになった。

▼中村忠行先生には無理を言い、御用意下さった原稿の前半部分(300字詰156枚)のみを掲載させていただいた。申しわけなく思っている。▼『阿英文集』(全2冊生活・読書・新知三联書店香港分店1979.6)が出版された。1927年から77年までの171篇の文章を収め、写真多数と李一氓、柳詒、夏衍、于伶の序文、阿英著作目録を附す。呉泰昌のあとがきによると、阿英の生前の構想を遵守するよう努めたという。創作と比較的長い研究著作は収録せず、すでに出ているか将来出そうな文集にあるものは少なめにし、散逸した新聞の短文とか絶版

になった書物のものに重点をおき、未発表の文章を少し入れた、というのが呉の説明である。上巻は解放以前の文章を集め、約半数が『夜航集』『小説閑談』『海市集』『小説二集』『劍腥集』からの再録で、下巻は解放後の新聞、雑誌から採集したものをまとめる。1963年分9篇に続くのが77年の1篇で、異常に長い空白が目をつくる。太陽社の論客銭杏邨としての論文がほとんど採録されておらず、それ故『銭杏邨文集』ではなく『阿英文集』であるのかと思ってみたりもする。あるいは単に通行名をとっただけなのかも知れない。単行本を主とした著作目録が附録にあるが、細目まであげるべきだろう。それよりも初出、再録等を明記した論文目録が是非ともほしいところだ。それがあれば『晚清小説史』についても、もう少しわかるのではないか。今回の選集ではない、本来の文集がほしい。▼千冊でも五百冊でも在庫がふえるだけで、どうでもいいようなものの、本誌は一応八百冊を印刷している。そのうち書店で扱ってもらっているのは百冊前後だ。売れば次号の印刷費にまわせてうれしいが、正直なところ、売りたくないという奇妙な矛盾をたのしんでいる。はたして、この楽しみを4回だけで終わらせることができるかどうか、私自身おぼつかない。(たるもと)

清末小説研究 第3号

発行日 ■1979年12月1日

実費 ■980円(送料200円)

編集兼
発行人 ■樽本照雄

印刷所 ■早稲田大学印刷所

発行所 ■清末小説研究会

〒520 滋賀県大津市

打出浜8番4-504

樽本照雄方

振替 大阪 40475

中国文芸研究会

野草既刊号

| | | |
|-----------------------------------|-------------|-------|
| 創刊号 | 魯迅特集 | 在庫なし |
| 第2号 | 清末小説特集 | 在庫なし |
| 第3号 | 現代中国文学 | 350円 |
| 第4号 | 中国の古典文学と現代 | 350円 |
| 第5号 | 魯迅特集(その2) | 350円 |
| 第6号 | 五四時代の文学 | 350円 |
| 第7号 | 中国文学と日本の教育 | 350円 |
| 第8号 | 三〇年代文学 | 400円 |
| 第9号 | 魯迅特集(その3) | 400円 |
| 第10号 | 解放区の文芸 | 400円 |
| 第11号 | 日本の現代文学と中国 | 400円 |
| 第12号 | 作家論 | 400円 |
| 第13号 | 魯迅特集(その4) | 400円 |
| 第 ¹⁴ / ₁₅ 号 | 三〇年代文学(その2) | 800円 |
| 第16号 | 仙台における魯迅の記録 | 800円 |
| 第17号 | 日中文学交流の一断面 | 800円 |
| 第18号 | 近現代中国文学 | 1200円 |
| 第19号 | 魯迅特集(その5) | 1200円 |
| 第20号 | 近現代中国文学 | 1200円 |
| 第21号 | 魯迅特集(その6) | 1200円 |
| | 四人組批判後の中国文学 | 1200円 |
| 第22号 | 近現代中国文学 | 1200円 |
| 第23号 | 文学の現在 | 1200円 |
| 第24号 | 読書の日日 | 1200円 |
| 合訂本 | (創刊号～7号) | 在庫なし |

采華書林

野草第23号

中国文芸研究会

〒533 大阪市東淀川区大隅通
大阪経済大学内 振替大阪3874462

揺れ動く文学状況——迫害の事実と

| | |
|----------------------|------|
| 真実の谷間…………… | 釜屋 修 |
| 《李自成》ノート(1)…………… | 高島俊男 |
| 形象思惟論の復権…………… | 是永 駿 |
| 「国防文学論戦」と「路線闘争」…………… | 弓削俊洋 |

魯迅と『労働者セヴァリョフ』

| | |
|--------------------------|-----------|
| との出会い(試論)〈上〉…………… | 中井政喜 |
| 「摩羅詩力説」材源考ノート(11)…………… | 北岡正子 |
| 晩清の演劇改良運動…………… | 瀬戸 宏 |
| 柳宗元の『漁翁』、『江雪』二首について…………… | 下定雅弘 |
| 《合評》「野草」第21号…………… | 楠原俊代 |
| 合宿記…………… | 山口建治/高島俊男 |

■ 1200円 (送料 200円)

野草第24号

〒464 名古屋市中種区末盛通
藤栄ビル2階 振替名古屋418517

采華書林

読書の日日

| | |
|-------------------------|------|
| 魯迅の祖父周福清(日)…………… | 村田俊裕 |
| 魯迅と『労働者セヴァリョフ』 | |
| との出会い(試論)〈下〉…………… | 中井政喜 |
| 「摩羅詩力説」材源考ノート(12)…………… | 北岡正子 |
| 《特別寄稿》李伯元の雑著4種について…………… | 魏 紹昌 |
| 巴金故居訪問記…………… | 池田武雄 |
| 北京のガリ版刷り詩集…………… | 細谷草子 |
| 《李自成》ノート(2)…………… | 高島俊男 |
| 《資料》『文学旬刊』『晨报』副刊 | |
| 目次目録…………… | 太田 進 |
| 《合評》『野草』第22号第23号 | |

■ 1200円 (送料 200円)